

上級クラス Advanced Class	A-R
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>じょうきゅう ろんぶんこうどく 上級 論文講読 Advanced: Reading</p>	<p>プレースメントテスト [ない] めんせつ 面接 [ある。ガイダンスをかねる]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>ながやま ひろあき 長山 浩章 (NAGAYAMA, Hiroaki)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>にほん づく てつがく ふじもとたかひろ にっほんけいざいしんぶんしゃ 『日本のもの造り哲学』(藤本隆宏) 日本経済新聞社 (2004)</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <ul style="list-style-type: none"> こうどく ちゅうしん にほん せいぞうぎょう き そちしき まな 講読を中心に日本の製造業についての基礎知識を学ぶ。 がくせい りんどく あと けいざいようご はいけいちしき かいせつ おこな 学生が輪読をした後、経済用語や背景知識について解説を行う。 	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>だいがくいん にゅうし ごうかく にほんごりよく しゅうとく ほ 大学院の入試に合格する日本語力を習得して欲しい。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>かい しゅつせき そうごうてき ひょうか テスト2回と出席などによって総合的に評価する。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p>なんいど たか ようご かいせつ はいふ じゅんび 難易度の高い用語の解説をポイントのまとめを配布するのでテスト準備をすること。</p>	

上級クラス Advanced Class	A-HONOR
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>じょうきゅう けいご 上級 敬語 Advanced: Honorifics</p>	<p>プレースメントテスト [ない] めんせつ 面接 [ある。ガイダンスをかねる]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>いえもと たろう 家本 太郎 (IEMOTO, Tarou)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>プリント配布 さんこうとしょ かね こひろゆき けいご [参考図書：金子広幸『にほんご 敬語トレーニング』(2006, ASK)]</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>けいご けんじょうご ていねいご にほんご たいぐうひょうげん た げんご くら とく 敬語、謙譲語、丁寧語からなる日本語の待遇表現は、他の言語に比べてかなり特 い ちゅうきゅうい じょう がくしゅうしゃ うんよう ふあん かん 異で、中級以上のレベルの学習者でも、その運用に不安を感じる場合があります。 この授業では、上記テキストを講読し、課題をこなしながら、運用に関する指導 をおこな を行います。 ほうげん てきぎ かいせつ 方言やアクセントについても、適宜、解説していきます。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>コミュニケーションな敬語に関する運用能力の獲得を目指します。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>じゅこうしせい しゅつせきりつ さいしゅう ひょうか 受講姿勢・出席率・最終レポートで評価します。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p>	

上級クラス Advanced Class	A-R/COMP
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>じょうきゅう ぶんしょうほう 上級 文章法</p> <p>Advanced: Reading / Composition</p>	<p>プレースメントテスト [ない]</p> <p>めんせつ 面接</p> <p>[ある。ガイダンスをかねる]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>もり まりこ 森 眞理子 (MORI, Mariko)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>はいふ プリント配布</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>にほんぶんか にほんしゃかい にほんじんろん あつか さまざま ぶんしょう ぜんいん 日本文化・日本社会および日本人論を扱った様々なスタイルの文章をクラス全員 よすす で読み進める。</p> <p>よ あとかなら とうろん じかん じぶん いけん はつびよう よすす さい 読んだ後必ず討論の時間をとるので、自分の意見を発表すること。読み進める際、 ひつよう かくじん はつおん 必要があれば、各人の発音をチェックすることがある。</p> <p>ひと かい こうどく とうろん おこな ごと 一つのテーマにつき2-3回の講読・討論を行い、その後テーマにそったレポー ていしゅつ トを提出する。</p> <p>ていしゅつ かくじん かなら くわ へんきやく せつきよくてき 提出された各人のレポートは必ずコメントを加え返却するので、積極的に ぶんしょう か れんしゅう 文章を書く練習をしてもらいたい。</p> <p>どっかいほう なんだ たか ぶんしょう どっかいりよく ようきゅう はつびよう さくぶん なお、読解法では難度の高い文章の読解力も要求されるが、発表や作文では かくじん げんざい かくじつ あ もくひょう 各人の現在のレベルを確実に上げることを目標とする。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>こうぎ りかい ひつよう じょうきゅう にほんごぶん どっかいのうりよく たか じぶん 講義を理解するために必要な上級レベルの日本語文の読解能力を高め、自分の いけん あやま つた こうとうひょうげんのうりよく ぶんしょうか さくぶんのうりよく 意見を誤りなく伝えることのできる口頭表現能力や、文章化する作文能力を やしな 養う。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>いちがつき すく かい ていしゅつ さいしゅう き きじつ 一学期に少なくとも1回のレポートを提出し、最終レポートを決められた期日ま か でに書くこと。</p> <p>じゅぎょう しゅつせき こうどく ぎろん きんか 授業に出席して、講読・議論に参加すること。</p> <p>せいせき そうごうひょうか おこな 成績はこれらの総合評価で行う。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p>はいふ ぶんしょう まえ かなら め とお ぎもんでん あき 1. 配布された文章は前もって必ず目を通し、疑問点を明らかにしておくこと。</p> <p>さんこうしょなど じゅぎょうちゅう しじ 2. 参考書等は授業中に指示する。</p>	

上級クラス Advanced Class	A-R/G(CJ)
<u>クラス名 Title</u> <small>じょうきゅう ぶんごぶんこうどく</small> 上級 文語文講読 Advanced: Reading / Grammar	プレースメントテスト [ない] <small>めんせつ</small> 面接 [ある。ガイダンスをかねる]
<u>講師 Instructor</u> <small>もり まりこ</small> 森 眞理子 (MORI, Mariko)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>はいふ</small> プリント配布	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>ひょうじゅん にほんご しゅうとく お おも せんこう ぶんごぶん よ ようきゅう がくせい</small> 標準日本語の習得を終え、主に専攻で文語文を読むことを要求される学生に <small>たい ぶんご か ぶんしょう と あ ぶんぼうせつめい くわ き そこうどく おこな</small> 対して、文語で書かれた文章を取り上げ、文法説明を加えながら基礎講読を行 <small>めいじじだい にほん ぶんがく ぶんか れきし ほうりつ かん ぶんしょう ちゅうしん じゅんじこうどく</small> う。明治時代の日本の文学、文化、歴史、法律に関する文章を中心に、順次講読 <small>よてい</small> していく予定である。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>きほんてき ぶんごぶん よ ぶん いみ りかい てきせつ げんだいご お か</small> 基本的な文語文を読み、文の意味が理解でき、適切な現代語に置き換えることがで きる。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>しゅつせき じゅぎょうさんかたいど さいしゅう ひょうか</small> 出席、授業参加態度、最終テストによって評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>おも じんぶんけい がくせい たいしゅう ぶんや がくせい じゅこう</small> 主に人文系の学生を対象とするが、どの分野の学生でも受講できる。	